学びて時に之を習ふ――「論語」から(1)

漢文の訓読

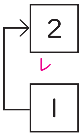
漢文を日本語の規則に従って読むことを**訓読**という。漢字だけで書かれた原文を**白文**といい、これに**訓点**を加えたものを**訓読文**という。主な訓点には、送り仮名・返り点・句読点がある。

●**送り仮名**…漢字の右下に、カタカナで送り仮名を書く。訓読では、「て・に・を・は」といった助詞や、助動詞なども補う。

●**返り点**…漢文を日本語の語順で読むため、漢字の左下に補う。

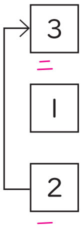
・**レ点**……下から上に一字返って読むことを表す。

(例)



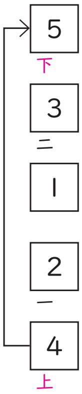
・**一・二点**…下から上に二字以上返って読むことを表す。

(例)



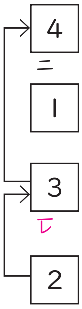
・**上・下点**…一・二点をはさみ、さらに返って読むことを表す。

(例)



・**レ**………一点とレ点を組み合わせたもの。先にレ点に従って下から上に一字返り、さらに二字以上返って読む。

(例)



●**句読点**……語句や文の切れ目を表すために補う。

訓読文を、漢字仮名交じり文に書き改めたものを**書き下し文**という。訓読文を書き下し文に直すときは、次のような決まりがある。

・送り仮名はひらがなに改める。
・返り点が示す順に従って書き改める。
・漢字は原則そのままだが、「之(の)」「不(ず)」などの助詞・助動詞はひらがなに改める。

〈白文〉　学而時習之

〈訓読文〉　学ビテ而時ニ習レフ之ヲ、

〈書き下し文〉　学びて時に之を習ふ、

「学而時習之」の「而」のように、訓読で読まず、書き下し文でも省略する文字を**置き字**という。

(例)　学ビテ而(置き字)時ニ習レフ之ヲ、(学びて時に之を習ふ、)

確認テスト

(1) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□レ □ □レ □レ □

(2) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□レ □二 □レ □ □一

(3) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□下 □ □二 □ □一 □上

(4) 返り点に従って、次の□に読む順の数字を書きなさい。

□二 □ □㆑ □ □

(5) 次の数字の順に従って□を読むように、返り点を書き入れなさい。

6 1 2 3 5 4

(6) 次の書き下し文となるように、訓読文に返り点を書き入れなさい。

之を知る者は、

知ル之ヲ者ハ、

(7) 次の訓読文を書き下し文に直しなさい。ただし「而」は置き字である。

温(メテ)レ故(ふるキヲ)而知(レバ)レ新(シキヲ)

【　　　　】

(8) 次の訓読文を書き下し文に直し、解答欄(かいとうらん)に当てはまる言葉を書き入れなさい。ただし「不」は助動詞に当たる言葉、「而」は置き字である。

学(ビテ)而不(ざレバ)レ思(ハ)則(すなはチ)罔(くらシ)

【　　　　】則ち罔し